

小林市営住宅入居者選考申込書

令和 年 月 日

私は、小林市営住宅に入居したいので申し込みます。
なお、この申込用紙の記載内容が事実と異なる場合、または審査の結果、入居資格がない場合には市営住宅への入居申込みを辞退することを誓約します。

(フリガナ)

申込者記名押印 印

※必ずこちらに記名押印し、太線枠内をもれなく記入してください。

入居希望団地	団地		現住所(〒)		
	年	棟 号	電話番号	- -	
			携帯番号	- -	
市営住宅に入居しようとする方		氏名(フリガナ)	続柄	生年月日 (歳)	勤務先・学校
	1		本人	(歳)	別
	2			(歳)	別
	3			(歳)	別
	4			(歳)	別
	5			(歳)	別
	計 名		※現在、別居している方については「別」を○で囲んでください。		

- (1)現在、住んでいる住宅の種類(該当するものに○を付け、必要事項を記入してください)
- ア 自分又は同居者の持家→原則、申込みできません
- イ 親族(親・子・兄弟姉妹・その他)の家に同居
- ウ 民間借家
- エ 社宅・寮
- オ 旧公団・公社住宅(名義人)
- カ 公営住宅(名義人)
- キ その他(具体的に)
- (2)1か月の家賃はいくらですか 月額 円
- (3)住宅に困っている理由(該当するものに○を付け、必要事項を記入してください)
- ア 住宅以外の建物若しくは場所に居住し、又は保安上若しくは衛生上有害な状態にある住宅に住んでいる
- イ 他の世帯と同居していて著しく生活上の不便を受けている又は住宅がないため親族と同居できない
- ウ 適正な居住基準を確保できない(間取り)
- エ 勤務場所から著しく遠隔地に住んでいる(勤務地 通勤距離約 km)
- オ 正当な理由による立ち退きの要求を受け、住宅に困窮している(自己の責めに帰する場合は除く)
- カ 収入に比して過大な家賃の支払をしている
- キ その他()
- (4)市区町村税の支払い状況について次のどれにあてはまりますか
- ア 滞納がない イ 滞納がある→申込みできません
- (5)入居申込者又は同居しようとする親族が暴力団員ではありませんか
- ア 暴力団員ではない イ 暴力団員である→申込みできません

申込みに来た人		受付日時	受付番号	確認印
申込者との関係		月 日		
申込者の連絡先		時 分		

優先対象資格確認欄

今回の抽選においては、優先入居制度(倍率優遇方式優遇制度)を採用しますので該当する項目を○で囲んでください。
(単身世帯は対象となりません)

ア 戸籍上、配偶者がいない世帯で現に20歳未満の子を扶養している世帯である
(申込み時点で離婚が成立していない方は申込みできません)

イ 引揚者世帯である

ウ 炭鉱離職世帯である

エ 60歳以上の者のみで構成されている世帯である
(ただし、60歳未満の配偶者、18歳未満の方、60歳未満の障がいのある方は含まれてもよい)

オ 障がいのある方を含む世帯である

カ 18歳未満の児童3人以上扶養している世帯である

キ DV被害者世帯である

ク 犯罪被害者世帯である

ケ 子育て世帯(小学校入学前の子がいる世帯)である

【重要】 いずれも書類審査の際に証明書類の提出が必要です。優先扱いを受けて
当選された方が証明書類を提出できない場合は、入居資格を満たしている
場合であっても当選は無効となります。

単身入居資格確認欄

単身で入居申込みされる方は、該当する項目に○を付けてください。
(戸籍上、配偶者のないことが必要です。)

ア 60歳以上の方(※年齢については、募集期間末日現在の満年齢です。)

イ 身体障がい者(1～4級)

ウ 戦傷病者(特別項症から第6項症まで又は第1款症)

エ 原子爆弾被爆者(厚生労働大臣の認定)

オ 生活保護受給者

カ 海外からの引揚者(引揚後5年を経過していない方)

キ ハンセン病療養所入居者等

ク 配偶者からの暴力被害(女性相談所長の証明等)